

- 第43回東京モーターショーは11月22日(金)から12月1日(日)までの10日間、東京ビッグサイトで開催され、期間中90万2千人の多くのファンを集めて閉幕した。東京モーターショーが開催される年の後半は各メーカーから新型車が多く登場、発売されるようだ。
本誌では毎号新車インプレッション記事を3~4台紹介しているが、本号は増頁して6台のインプレ記事を掲載した。国産車5台と輸入車のジープチェロキーを採り上げたが、輸入車には最近、フォルクスワーゲン、アウディ、ベンツ、BMW、ボルボなどの魅力的な新型車が續々登場している。
本誌では、次号以降も国産車、輸入車のインプレ記事を増頁し、読者等の期待に応えていきたいと考えている。北海道ステージの新車インプレは、特に冬期においては本誌の強みであり貴重な情報と自負している。また、スタッドレスタイヤの記事紹介やインプレ記事も創刊以来掲載している。こうして、読者の要望はもとより、メーカー、ディーラーのニーズに応えクルマ社会の発展に役立てたい。
- もうすぐ2014年を迎える。2014年は本誌創刊30周年を迎える意義ある年である。本号は発行第254号を数える。バックナンバーを振り返ると業界の先人立ちの元気な姿の取材記事も多い。本誌は業界の歴史を語る本ともいえようか。これからもユニークな、本誌ならではの記事企画を掲載していきたい。
- 2013年12月1日から改正道路交通法の一部が施行された。自転車が道路の路側帯を走る場合、車道と同じ左側通行に統一された。
歩道のない道路を白の実線などで区切った外側の「路側帯」ではこれまで自転車は左右どちらも通行できたが、今回の施行で路側帯の通行を左側に限定した。
自転車は道交法上、軽車両扱いで、車道を走る場合は左側通行が義務づけられている。路側帯の左側通行に違反した場合の罰則は「3ヶ月以下の懲役か5万円以下の罰金」を科せられる。
また、クルマも無免許運転などが厳罰化された。「1万円以下の懲役又は30万円以下の罰金」から「3年、50万円」に強化された。クルマも自転車も運転者の自覚が求められる。
- 新年から心したい心構え8か条
性格は顔に出る
生活は体型に出る
本音はしぐさに出る
感情は声に出る
センスは服に出る
美意識は爪に出る
清潔感は髪に出る
落ち着きのなさは足に出る
- 「笑う門には福来たる」
幸せだから笑うんじゃないよ
笑うから幸せになるんじゃない
—おばあちゃん—
本年もよろしく願い致します。(T・S)
- 毎年冬将軍号に於いて、恒例の「交通安全企画」を立ち上げ、関係各方面の方々よりコメントを頂いているが、今年も北海道は交通事故死ワースト1を回避出来そうな情勢だ。
11月末現在での速報値だが、トップの愛知県とはかなりの開きがあることが警察庁の発表によって明らかになった。
だが、年末を迎えて積雪のある北海道では油断は禁物。スリップなどで交通事故が多発するリスクが他地域よりもはるかに多いからである。
しかも日暮れが極端に早く、午後四時過ぎには夜と殆ど変わらない状態になる。
そのような悪条件下では、基本に忠実な運転を心掛けることが大切ではなからうか。
若葉マークのドライバーもベテランドライバーももう一度原点に戻って自身の運転を顧みるのも良いかも知れない。(Y・K)